

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 113

2017年5月16日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。<http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>からもご覧頂けます。

★今月の「みんなのコラム」は、農学部の加藤雅也先生です。

◆◆ CONTENTS ◆◆

1. 「静岡大学食品・生物産業創出拠点 第44回研究会」のご案内
2. 「静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター 第10回 研究・開発成果発表会」のご案内
3. 文部科学省「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」 「“時空を超えて女神の前髪をつかむ” キックオフシンポジウム」のご案内
4. 「BIO tech 2017 アカデミック フォーラム」に出展します

1. 「静岡大学食品・生物産業創出拠点 第44回研究会」のご案内

【日時】 2017年5月26日（金）13：25～17：00
【場所】 静岡市産学交流センター B-nest 6F プレゼンテーションルーム
静岡市葵区御幸町3-21 TEL 054-275-1655
《主催》 静岡大学食品・生物産業創出拠点
《後援》 公益財団法人 静岡県産業振興財団

□■講演■□

主 題：健康長寿は腸内環境の改善から

1. 13:30～14:30
「“長寿菌”がいのちを守る！～大切な腸内環境コントロール～」
特定国立研究開発法人理化学研究所 イノベーション推進センター
辨野特別研究室 辨野 義己氏
2. 14:30～15:30
「健康長寿は消化管の健康から」
江崎グリコ株式会社 健康科学研究所 マネージャー 釜阪 寛氏
3. 15:45～16:45
「企業における機能性食品素材開発の現状」
アサヒグループホールディングス株式会社 R&Dセンター
専任部長 山本 直之氏

懇親会 17:10～18:40

しずだい産学連携メールマガジンVol113
会場 THE GARDEN CITIO (ザ・ガーデンシティオ) ホテルシティオ静岡 5F
静岡市葵区伝馬町1-2 (研究会会場から徒歩約1分)
TEL : 054-253-1106

【研究会参加費】

*会員・後援団体会員及び学生…無料
*会員外…1,000円(当日、受付にてお願いします。)
但し、懇親会費は、別途徴収させていただきます。
*会員(学内・学外共) 1名2,000円
*会員外 1名5,000円

【聴講問合せ・申込先】 静岡大学食品・生物産業創出拠点 事務局
〒422-8529 静岡市駿河区大谷 8 3 6
TEL : 054-238-4631 FAX : 054-238-3018
Email: oshirao@ipc.shizuoka.ac.jp

2. 「静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター
第10回 研究・開発成果発表会」のご案内

地域産業の振興と活性化に向けた県西部地域における幅広いネットワークの形成と
活発な交流・連携による研究開発及び製品化・実用化の促進支援を目的に、静岡県と
県西部地域の大学及び産業支援機関との共催・後援による研究・開発成果発表会を、
下記のとおり開催します。

【日時】2017年6月9日(金) 13:00~17:00(終了予定)
【会場】静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター
(浜松市北区新都田1-3-3)
【案内HP】<https://www.iri.pref.shizuoka.jp/seminar/event/2083.html>

□■プログラム■□

【特別講演】

13:05~14:05 「競争優位を生み出す人工知能の技術と応用
~富士通研究所における人工知能研究の取り組み~」
講師:(株)富士通研究所 人工知能研究所 シニアディレクター 渡部 勇 氏

【研究・開発成果発表】

14:10~ レーザー・光、電波識別、半溶融成形、難加工材、電鋳、
繊維複合材料等(センターの技術分野)、
各大学における最近の研究成果(共催する4大学による)

■本学研究者による発表■

14:10~ 「ナノスケールでものづくりを目指した顕微鏡技術」
工学部 機械工学科 教授 岩田 太
発表場所:視聴覚室(開放棟1階)

15:05～ 「モータの研究について」
工学部 機械工学科 准教授 朝間 淳一
発表場所：小研修室（開放棟1階）

【ポスター展示及びポスターセッション】

ポスター展示 [13:00～]

ポスターセッション [研究・開発成果発表終了後40分から1時間程度]

：研究・開発成果に係るポスター及び共催・後援各機関における企業支援策等の出展

《主催》静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター

《共催》静岡大学、静岡理科大学、静岡文化芸術大学、光産業創成大学院大学、
浜松地域産業支援ネットワーク会議

《後援》中小企業基盤整備機構関東本部

【参加費】 無 料

【問合せ・申込先】静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター
（〒431-2103 浜松市北区新都田一丁目3-3）
技術支援担当：山下
TEL：053-428-4152 FAX：053-428-4160
E-mail：hamamatsu[at]iri.pref.shizuoka.jp

3. 文部科学省「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」
「光の先端都市『浜松』が創成するメディカルフォトニクスの新技術」
「“時空を超えて女神の前髪をつかむ” キックオフシンポジウム」のご案内

この度、静岡大学及び浜松市は、文部科学省 平成28年度「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」に共同申請し、全国で4拠点の中の1つとして、「光の先端都市『浜松』が創成するメディカルフォトニクスの新技術」が、採択を受けました。このプログラムは、光の最先端研究を追求する“光の先端都市HAMAMATSU”実現を目指し、静岡大学、浜松医科大学、光産業創成大学院大学、浜松ホトニクス（株）が調印した「浜松光宣言2013」に基づき、地域一体となって進めていく取り組みです。

今回は、本事業を実施するにあたり、プロジェクトの概要を皆様にお示しするとともに意見交換、ネットワーク作りの機会としてキックオフシンポジウムを開催いたします。このプロジェクトが、地域の新たな産学連携の発展と地域の振興に繋がるものとなるようぜひ多くの皆さまにご参加いただきたくご案内します。

【日 時】 2017年6月20日（火）14:00～19:00

【会 場】 シンポジウム：えんてつホール（遠鉄百貨店新館8階）
※遠鉄百貨店新館エレベーターで8階までお上がりください
情報交換会：えんてつスカイテラス（遠鉄百貨店新館13階）
（静岡県浜松市中区旭町12-1）<http://hall.entetsu.co.jp/map.html>
※えんてつホールには駐車場はございません
周辺の駐車場をご利用いただくか、公共交通機関等でご来場ください

しずだい産学連携メールマガジンVol113

《主催》 国立大学法人静岡大学、浜松市
《参画機関》 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構フotonバレーセンター、
国立大学法人浜松医科大学、学校法人光産業創成大学院大学、
学校法人静岡理工科大学、浜松ホトニクス株式会社、株式会社静岡銀行、
浜松信用金庫、遠州信用金庫、静岡県

【申込み】 こちらのフォームよりお申込ください
<http://qq2q.biz/DozA>

【申込締切】 2017年6月13日（火）

□■プログラム■□

1. 開会挨拶 14:00~14:10
国立大学法人静岡大学 学長 石井 潔
浜松市 産業部長 佐藤 洋一
 2. 来賓挨拶 14:10~14:25
文部科学省 科学技術・学術政策局長 伊藤 洋一
 3. 「光の先端都市“浜松”のイノベーション・エコシステム構築に向けて」（仮）
14:25~15:40
事業プロデューサー/Medical Director, Stanford University 池野 文昭
国立大学法人浜松医科大学 理事、副学長 山本 清二
国立大学法人静岡大学 電子工学研究所 所長 三村 秀典
 4. 「フotonバレーセンターの概要」16:00~16:20
公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構
フotonバレーセンター長 伊東 幸宏
 5. 特別講演「地域が展開する光応用産業」16:50~17:00
浜松ホトニクス株式会社 代表取締役社長 晝馬 明
- 閉会挨拶 17:00~17:05
副事業プロデューサー / 静岡大学 理事、副学長 木村 雅和

■情報交換会 17:20~19:00 <会費:5,000円>

【問合先】 静岡大学 イノベーション社会連携推進機構 イノベエコ事務局
E-mail [in-eco_event\[at\]cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:in-eco_event[at]cjr.shizuoka.ac.jp)
TEL: 053-478-1661
担当: 鈴木（温）、長島

4. 「BIO tech 2017 アカデミック フォーラム」に出展します

アカデミックフォーラムに静大教員3名が出展します。
アカデミック フォーラム（創薬・医療・バイオ 研究発表大会）は、大学・国公立
研究所の研究者が、口頭発表やポスター展示を通して、バイオ研究の成果発表を
ページ(4)

行う場です。

来場者と発表者の間で、共同研究・技術移転・ライセンスに関する打ち合わせが多数行われるなど、大学－企業間を中心とした実質的な産学連携・パートナーリング案件が多数生まれています。
ぜひご来場ください。

【日 時】 2017年6月28日（水） ～ 6月30日（金）

【場 所】 東京ビッグサイト

【静岡大学の出展・発表内容】

大学院 総合科学技術研究科 農学専攻 准教授 与語 圭一郎
発表タイトル：雄の生殖能に重要なSLCトランスポーターの同定
・会場：ACA-3（創薬ツールコース）
・日時：6月28日（水）11：50～12：20

大学院 総合科学技術研究科 工学専攻 准教授 鳴海 哲夫
発表タイトル：キノリニウム型光感受性保護基の創製とケージド神経伝達物質への応用
・会場：ACA-2（医薬・診断薬シーズコース）
・日時：6月29日（木）10：30～11：00

大学院 総合科学技術研究科 情報学専攻 准教授 荒木 由布子
発表タイトル：MRIデータに基づくアルツハイマー病早期発見のための統計的モデリング
・会場：ACA-1（研究シーズ／研究ツールコース）
・日時：6月29日（木）13：10～13：40

【詳 細】 <http://www.bio-t.jp/Academia/About/>
【問合先】 静岡大学イノベーション社会連携推進機構
TEL：053-478-1702
FAX：053-478-1711

《 みんなのコラム -107- 》

記：農学領域 教授 加藤 雅也

私の専門は、収穫後生理学である。収穫後生理学は、主に収穫した後（ポストハーベスト）の野菜や果実における代謝やそれらの貯蔵、利用について研究する分野である。

これまで私達の研究室では、静岡特産のカンキツ、特にウンシュウミカンにおける機能性成分のβ-クリプトキサンチンの生合成メカニズムについて研究を行ってきた。β-クリプトキサンチンは、カロテノイドという色素の一種で、ウンシュウミカンの橙色を呈する主要な色素成分である。この成分は、最近では三ヶ日みかんで機能性表示されているように、骨粗しょう症や生活習慣病の予防効果が期待されている。

産学連携の研究では、収穫後のウンシュウミカンの果実に、このβ-クリプトキサンチンを、より高含有化する研究に取り組んだ。高含有化する技術として、果実にLEDを用いた

光照射を行い、β-クリプトキサンチンがどの程度増えたか調査した。また、β-クリプトキサンチンの生合成に関わる遺伝子の発現解析を行うことにより、なぜβ-クリプトキサンチンが高含有化されたかといった科学的な根拠も明らかにした。これらの研究成果は、これまで商工会議所、企業などからご支援頂いたこともあり、2報の学術雑誌へ掲載されてはいるが、まだ実用可能な技術には至っていない。

β-クリプトキサンチンは機能成分であり、また、橙色の色素でもある。この色素成分を高含有化することにより、果実の見た目もより良くなり、果実が甘くみえる。今後も皆様からのさらなるご支援を頂くことにより、見た目の良い、高品質なカンキツ果実を作出するための研究、技術開発に寄与していきたいと考えている。

<< 編集後記 >>

静岡大学情報学部の青木徹教授と永吉武講師がシリコンバレー日本大学〔Silicon Valley Japan University（所在地：米国カルフォルニア）以下、SVJU〕との連携により「米国シリコンバレーの学習と“HAMAMATSU Valley” 実現化提言プロジェクト」と題し、アントレプレナーシップ教育を開始しました。

日本企業は高い技術力を有している一方で、新事業創出・新分野進出等に係る課題に直面しており、浜松地域も同様と言えます。この様な背景のもと、米国シリコンバレーのSVJUとの協力によりグローバル・イノベーションを生み出す仕組みを調査・研究し、浜松地域の企業家や起業家がグローバル・イノベーションを起こすための環境整備策を提言することを目標としています。

浜松地域や浜松地域企業にとっては、世界に誇る産業集積地としての再活性化に向けての活力となり、静岡大学はこの地域のシンクタンクとして貢献することが出来ます。また、学生にとってもグローバル視点・チャレンジ精神・人間力の養成などに繋がるなど、アントレプレナーシップの醸成に繋がります。

今後、浜松地域から世界に通用する人材が創出され、今以上に世界に開かれた都市となることを大いに期待しています。

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・配信中止のご連絡は、[sangakukoho5\[at\]cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:sangakukoho5@cjr.shizuoka.ac.jp) までお願いします。（↑送付の際は[at]を@に変更してください。）

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構

